



2022年11月8日

各 位

会 社 名 B A S E 株 式 会 社
 代 表 者 名 代 表 取 締 役 C E O 鶴 岡 裕 太
 (コード番号:4477 東証グロース)
 問 合 わ せ 先 取 締 役 上 級 執 行 役 員 C F O 原 田 健
 TEL. 03-6441-2075

通期業績予想（連結業績・個別業績）に関するお知らせ

この度、2022年12月期通期の業績予想の算定が可能となり、また、前期実績に比して開示が求められる差異が生じたので、お知らせいたします。

1. 前期連結実績との差異について

(1) 2022年12月期通期連結業績予想（2022年1月1日～2022年12月31日）

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1株当たり 当期純利益
前期実績 (A)	9,931	△977	△960	△1,194	△10円80銭
今回発表予想 (B)	9,130 ～9,490	△2,300 ～△2,130	△2,290 ～△2,120	△2,369 ～△2,199	△20円60銭 ～△19円17銭
増減額 (B-A)	△801 ～△441	△1,322 ～△1,152	△1,329 ～△1,159	△1,175 ～△1,005	—
増減率 (%)	△8.1% ～△4.4%	—	—	—	—

(2) 連結業績の通期見通し

連結売上高は、PAY事業の流通総額が、既存加盟店の継続的な成長に加え新規加盟店の増加により大きく増加する見込みである一方で、BASE事業における、戦略的なテイクレート（注）の引き下げに伴う売上高の減少により、前年同期比で減少する見込みです。

更に、販管費は、プロダクト開発及びセールス&マーケティングの体制強化に伴う人件費等の増加により、前年同期比で増加する見込みです。

以上の結果、連結営業損失、連結経常損失及び連結当期純損失の赤字幅は拡大する見込みです。

2. 前期個別実績との差異について

(1) 2022年12月期通期個別業績予想 (2022年1月1日～2022年12月31日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前期実績 (A)	8,420	△879	△860	△1,147	△10円37銭
今回発表予想 (B)	7,130 ～7,390	△2,240 ～△2,080	△2,228 ～△2,068	△2,307 ～△2,147	△21円16銭 ～△19円64銭
増減額 (B－A)	△1,290 ～△1,030	△1,360 ～△1,200	△1,367 ～△1,207	△1,160 ～△1,000	—
増減率 (%)	△15.3% ～△12.2%	—	—	—	—

(2) 個別業績の通期見通し

売上高は、流通総額及び売上総利益を中期的に最大化することを目的に、決済手数料を従来の料金プランよりも引き下げ、サービス利用料を固定費でいただく月額有料プランを4月18日から提供を開始し、テイクレート（注）を戦略的に引き下げたことにより、前年同期比で減少する見込みです。更に、販管費は、認知系マーケティングの縮小に伴いプロモーション費は減少も、プロダクト開発及びセールス&マーケティングの体制強化に伴う人件費等の増加により、前年同期比で増加する見込みです。

以上の結果、営業損失、経常損失及び当期純損失の赤字幅は拡大する見込みです。

(注) テイクレートとは、流通総額（決済ベース）に対する売上高の比率

なお、業績予想の詳細につきましては、本日開示しております「2022年12月期第3四半期決算説明会資料」もあわせてご参照ください。

以上